

JAおちいまばり第7次中期計画最重点実施項目進捗管理表（平成28年度～30年度）

生活福祉事業（平成30年度第4四半期）

| ビジョン・目指すべき姿 | 住み慣れた地域での助けあいを軸とした地域セーフティネット機能を発揮するため、介護保険事業を通じ、健康でいきいきと安心して暮らせる「地域づくり」を推進します。 | | | | | | | | | |
|-----------------------|--|---|---|--|-----|--------|--|--|----------------|--|
| 重点方針 | 最重点実践方策 | 代表的な施策 | 3年間（平成28年度～平成30年度）の目標 | 平成30年度の目標値 | 実績値 | 達成度% | 主な取組事項 | 今後の方針・課題 | 担当部署 | |
| 1 高齢者福祉事業を通じた地域活性化 | 住み慣れた地域での助けあいを軸とした地域セーフティネットの構築（JA版地域包括ケアシステム） | 施設機能を強化し地域連携拠点としての役割を發揮します。具体的には、各地域で開催される定期的な地域ケア会議に、各デイサービスセンターから参加し、地域を取り巻く福祉環境の向上に貢献します。また、小規模多機能型居宅介護事業所において、地域認知度の向上に向けた活動として、園児や児童、学生との交流会等を開催し、地域・学校等との連携を深めます。 | 4か所のデイサービスセンターから年2回（通算8回）の地域ケア会議参加を3年間継続します。 | 各デイ年2回 | 8回 | 100.0% | 地域包括ケアシステムの構築を目指し、今年度から自治体の取り組みが本格化してきたことを受け、早い段階で各地区の地域ケア会議が開かれている。 | 今後も積極的に参加し、地域の介護状況や介護資源の把握に努め、地域包括ケアシステムの一翼を担っていただける事業所を目指す。 | 生活福祉課 | |
| | | | 毎年2回の交流会等開催を3年間継続します。 | 園児や児童、学生との交流会等開催（年6回） | 9回 | 100.0% | 地方祭への参加や、次世代リーダー企画のトマト狩り等、積極的に交流を深めている。また、地域の方が気軽に立ち寄れるよう、ベンチ等の設置を行った。 | 今後は出向く交流に加え、地域交流室の利用も含めた集いの場の提供を広く周知していく。 | 生活福祉課 | |
| | | 助けあい組織「太陽の会」と連携して、JA健康寿命100歳プロジェクトを実施し、地域の健康増進に貢献します。 | 平成28年度中に実施内容を検討し、平成29年度から毎年1回の実施を継続します。 | 経過観察 | 実施 | 100.0% | 今治市生活支援体制整備事業の推進において、助けあい組織への今治市の期待が高まっていることを支部長会で共有した。 | 今後は各支部で行っているミニデイ等の状況を今治市が視察・聞き取りを行い、助けあい組織の今後の活動内容や役割を明確にしていく。 | 生活福祉課 組織広報課 | |
| | | JA福祉事業の認知度を高めることにより、地域福祉環境の向上に貢献するため、JA広報誌にコンプライアンスに基づく効果的な情報の掲載を行います。 | JA広報誌への年6回の情報掲載を3年間継続します。 | 年6回 | 6回 | 100.0% | 警察署から特殊詐欺予防等のお知らせイベント開催に伴う活動内容の掲載を行った。また、小学校からの車イス贈呈式の様子など、地域との交流活動について積極的に情報発信した。 | 今後も地域との交流イベントの様子等、紙面確保をして、積極的に活動内容を掲載していく。 | 生活福祉課 組織広報課 | |
| 2 利用者の自立支援を核とした介護保険事業 | 中長期的な視野に立った人材育成 | 人材育成に向けて、資格取得への助成金制度を計画的に運用し、介護福祉士（国家資格）・介護支援専門員の資格保有者を増加します。 | 介護福祉士（国家資格）について、平成28年度は4名、平成29年度は5名、平成30年度は6名の取得を目指します。 | 1名取得 （受験資格の要件がきびしくなり、対象者が1名しかいないので、1名に変更） | 1人 | 100.0% | 今年度は資格取得対象者1名 | 今年度の対象者1名、合格することができました。 | 生活福祉課 | |
| | | | 介護支援専門員について、平成28年度は2名、平成29年度は3名、平成30年度は4名の取得を目指します。 | 4名取得 | 1人 | 25.0% | 今年度は資格取得対象者4名 | 今年度の合格者は1名。全国・愛媛県ともに合格率は10%を下回った。 | 生活福祉課 | |
| | 業務改善によるさらなるサービスの質の向上 | 未取得である認知症加算の取得に向けて、各デイサービスセンターから1名、認知症介護実践者研修を受講します。 | 4か所のデイサービスセンターから各1名（通算4名）の認知症介護実践者研修参加を3年間継続します。 | 各デイ1名 研修受講 | 2人 | 40.0% | 県社協・地域密着サービス協会各第1・2期に合計8名応募した。 | 地域密着サービス協会第2期に2名参加することができた。 | 生活福祉課 | |
| 3 訪問診療を核とした歯科診療事業 | 口腔ケアによる健康な歯の維持・増進 | 組合員加入メリットを創出し、外来患者数・訪問件数の伸長に努め、地域組合員に貢献します。 | 訪問診療実施施設増加数年2ヶ所を3年間継続します。 | 訪問施設を2ヶ所増加 | 2回 | 100.0% | 既存施設でのケア件数が増加傾向にあり、新規訪問先への営業活動が不足していたが、2件訪問することができた。 | 今後も訪問診療のメリットを活かし、管内介護施設との連携を図っていく。 | 生活福祉課 | |